

富士市須津まちづくりセンター 須津ふるさと講座レポート

静岡県埋蔵文化財センター

平成31年2月28日

2月28日（木） 富士市須津まちづくりセンター主催で「須津ふるさと講座」を開催しました。須津地区の歴史を学ぼうと意欲満々な18名の受講生の皆さんと須津古墳群から出土した須恵器や鉄剣などの実物の遺物に触れながらの歴史学習のあと、勾玉作りに挑戦しました。



須津古墳群のお話

小学生の頃、学校に出土した遺物が飾られていたり、お宮さんとなっている古墳あとで遊んだり、身近なところに1500年以上前から人々の営みがあったことに、驚きと誇りを持つことができたようです。



普段はなかなか触れることのできない古墳からの出土品に触れ、さらに当時の人々に思いを寄せることができたようです。



勾玉作り体験

須津古墳群からも出土している、あの不思議な形の勾玉（曲玉）。その形状は、動物の牙を模しているとする説や母の胎内にいる初期の胎児の形を現しているのではなど諸説があります。そんな謂れや発掘の様子などの解説を聞いた後、いよいよ勾玉作りに取り組みました。出土した勾玉の多くは、翡翠や瑪瑙、水晶といった硬い石を加工して作られていますが、今回の体験では、やわらかくて加工しやすい滑石（蠟石）を、紙のやすりを使って形を整え、完成させることができました。



最初は戸惑いもありましたが、次第にのめりこみ、勾玉作りに没頭、紙やすりを使って、丁寧に磨き上げて成型着色と、世界に一つのオリジナル勾玉を完成させることができました。1時間30分程度の短い体験時間でしたが、完成までこぎつけ、自慢げに笑顔で首からさげる受講生も見受けられました。